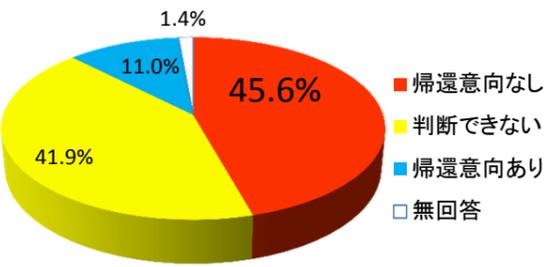
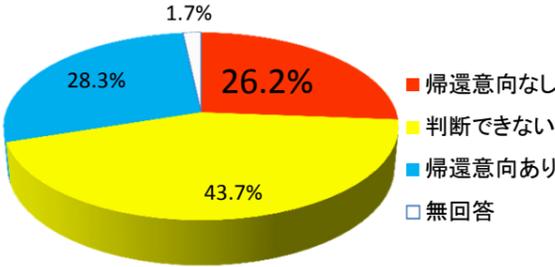
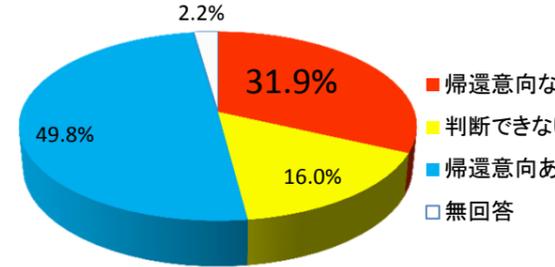
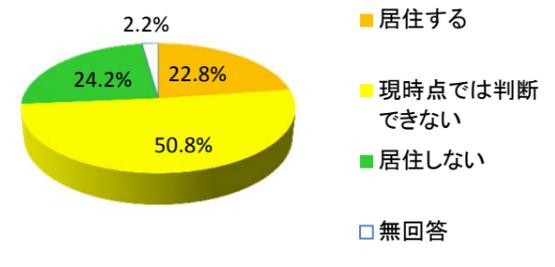
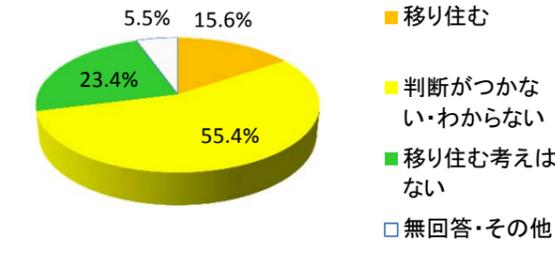


被災自治体における住民意向調査の実施概要

市町村	大熊町		浪江町		富岡町		双葉町			
実施主体	復興庁・福島県・大熊町		浪江町(単独)		富岡町(単独)					
調査時期	平成24年9月		平成24年6月		平成24年7~8月		調査未実施			
対象	全世帯主(分散避難の代表者含む)		高校生以上の全町民		全世帯主(分散避難の代表者含む)					
配布数	5,378 世帯		18,258 人		7,150 世帯					
回答数	3,424 世帯		11,222 人		3,159 世帯					
回収率	63.7%		61.5%		44.2%					
帰還意向	帰還意向なし	戻らないと決めている	45.6%	戻らない	26.2%	戻らない	31.9%			
	判断できない	現時点で判断がつかない	41.9%	帰町不明・わからない	43.7%	わからない	16.0%			
	帰還意向あり	現時点で戻りたいと考えている	11.0%	帰還するまでの間町が整備する場所で待つ	10.3%	居住地を自ら選択し帰れるまで待つ	25.7%	49.8%		
			11.0%		帰還するまでの間自ら選択する場所で待つ		18.0%		災害公営住宅の居住し帰れるまで待つ	24.2%
無回答	無回答	1.4%	無回答	1.7%	無回答	2.2%				
										
帰還しない理由 (上位5位)	1位 放射線量に対する不安があるから		1位 事故の収束 ※		1位 放射線が心配だから					
※ 浪江町は帰還の判断で重要視すること(賠償を除く)	2位 原子力発電所の安全性に不安があるから		2位 放射線量低下 ※		2位 復興できると思わないから					
	3位 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから		3位 インフラの復旧 ※		3位 原子力災害により家屋が住める状況ではないから					
	4位 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから		4位 仕事の確保 ※		4位 病院や商店などができないと思うから					
	5位 医療環境に不安があるから		5位 自宅の再建 ※		5位 子供の健康や教育が心配だから					
町外コミュニティ等への居住意向	居住する	22.8%	移り住む	15.6%	—		—			
	現時点では判断できない	50.8%	判断がつかない・わからない	55.4%	—		—			
	居住しない	24.2%	移り住む考えはない	23.4%	—		—			
	無回答	2.2%	無回答・その他	5.5%	—		—			
										
今後のスケジュール	—		復興庁調査開始: 12月以降(予定) 調査結果公表: 1月以降(予定)		復興庁調査開始: 12月(予定) 調査結果公表: 1月(予定)		復興庁調査開始: 12月(予定) 調査結果公表: 1月(予定)			